

21 世紀科学技術政策への提言

国際水素エネルギー協会 (International Association for Hydrogen Energy)
理事会より、G8 加盟諸国首脳あての手紙

21 世紀科学技術政策への提言
2006 年 11 月 13 日

G8 加盟諸国首脳：

- Canada; Prime Minister Stephen Harper
- France; President Jacques Chirac
- Germany; Chancellor Angela Merkel
- Italy; Prime Minister Romano Prodi
- Japan; Prime Minister Shinzo Abe
- Russian Federation; President Vladimir Putin
- U.K.; Prime Minister Tony Blair
- U.S.A.; President George W. Bush

各位

主題：迫り来る「エネルギー危機 / 気候災害」と「それを永久的に
解決する水素経済」について

謹啓

私たちは、ここに連署の上、G8 加盟諸国首脳各位に対し、水素エネルギーを
それぞれ自国の。また共通した国家政策の最重要課題として位置づけられ、
且つ、迫り来るエネルギー危機 / 気候災害に対する恒久的な解決策として御推
進くださるようお願い申し上げます。 21 世紀の幕開けから人類が直面している
大問題は、気候変動とエネルギー問題です：

* 気候変動が人間によって引き起こされたものである事はまちががありません、

気候変動に関する政府間協議 (IPCC) は、21 世紀末までに大気中の温度がセ氏
2 度から 4.5 度上昇すると予想しています。この結果、人類、動物相、植物
相ばかりでなく、人類の文化遺産までもが大災害と損害に見舞われると予想
されます。また、

* これまでの化石燃料や原子力のような第 1 次エネルギー資源の利権や生産
技術の寡占化が進み、大多数のエネルギー消費国にとっては、あまり都合の
良い状況にはなっていません。

『エネルギー政策は、技術開発政策だ』と言われる背景には、エネルギー効率
が非常に高くなった事、化石燃料を採り尽くそうとしている事、核エネルギー
を安全対策と核不拡散条約によって守って来た事、再生可能なエネルギー資源
を開発して来た事等がありますが、このような発展著しい諸分野の中で共通し
て頂点にある目標課題が『水素エネルギーの科学技術』です。その理由は次の
通りです：

- * 水素エネルギーは、環境にも気象にも影響を与えない、輸送可能な燃料であ
ること。
- * 水素エネルギーは、今は未だ眠っているが、やがて世界のエネルギー取引の
中心となって貢献するようになる再生可能なエネルギー資源を備蓄したり、
輸送したりする時に、エネルギーの媒体となって働く物質であること
です。

ただし、

* 最も大きな比率を占めるのは、再生可能なエネルギー資源に由来する水素エ
ネルギーですが、これが必ずしも水素エネルギー経済に入る前提条件になる
わけではありません。

私たちは、何十年にもわたって水素エネルギーの研究に従事して来ましたが、
この後も次のような確信を持って、この分野の研究に専門家として一身を掛け、
水素エネルギーとその科学技術の推進と発展に貢献すべく、誠心努力する覚悟
です。

* 水素エネルギーは、『揺り籠から墓場まで』、すなわち、その生産過程の始め

から消費された後まで、環境汚染物質は一切出さず、気候変動の原因とされる
地球温暖化に影響する物質も出ません。

- * 水素燃料電池を利用する事によって、現在利用されていない、広い地域の眠
れるエネルギーが活性化されます。
- * 水素エネルギーに転換する事によって、陸・海・空の輸送機関がこれまで化
石燃料を使う事によって大地、海、大気中に排・漏出してきた汚染物質を出
さなくなります。
- * 水素エネルギーが利用されるようになる事によって、莫大な再生可能エネ
ルギー資源が世界のエネルギー取引に貢献し易くなります。
- * 一言で言えば、『水素エネルギーの科学技術は、人類に清潔なエネルギーを
豊富に提供してくれます。』

上記の通り、下の連署を以てご提案申し上げます。

敬白

Signed by:

- Canada: Tapan Bore, Ghazi Karim
- France: Claude Etievant, Jacques Saint-Just, Claude Massot
- Germany: Jørgen Garcke, Detlef Stolten, Carl-Jochen Winter
- Italy: Cesare Marchetti, Giuseppe Spazzafumo
- Japan: Tokio Ohta, Yasukazu Saito, Kunio Yoshida
- Russia: Alexander L. Gusev, Stanislav Malyschenko
- U.K.: Peter P. Edwards, David Hart
- U.S.A.: John O'M. Bockris, Patrick I. Kakahashi, T. Nejat Veziroglu

Copy:

- U.N. Secretary General : Kofi Annan
- UNIDO Director-General: Kande K. Yulella
- UNDP Administrator: Kemal Dervis
- UNEP Executive Director: Achim Steiner

* 日本からの署名関係者

太田時男(Tokio Ohta)：国際水素エネルギー協会 (IAHE)副会長、横浜国立大
名誉教授、(元横浜国立大専長)。

斉藤泰和(Yasukazu Saito)：国際水素エネルギー協会理事、東京大学名誉教授、
東京理科大学教授。

吉田邦夫(Kunio Yoshida)：国際水素エネルギー協会委員、東京大学名誉教授、
新潟産業大学学長。

日本語訳担当者 井東廉介(Rensuke Itoh)：国際水素エネルギー協会会員、石川
立大学教授。